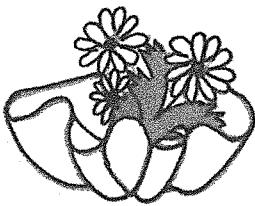


ひまわりからの メッセージ

97号

2019.7.8
NPOひまわりの花内
西濃園域
癡聾障がい支援センター
発行人：中野たみ子



身の巡り

毎年、梅雨が明ける頃に、庭先の百日紅^{ヒマラヤツバキ}が咲きはじめます。

百日紅^{ヒマラヤツバキ}が先に咲きいでて

秋に入りても咲く白キバ花

松村英一

わが家には、赤い花の咲く木と、実生^{カウ}はえた紫^{シモツ}がかったピンクの花しかなく、比べようがありませんが、百日紅が咲く頃になると、この一首を思い出します。幼い頃の記憶というものは面白いものです。

ところで、令和だ、改元だと言つていたのはいつのことだったかと思える程に月日は流れ、子どもたちはもうじき夏休みを迎えます。私が小学生の頃、夏の宿題に昆虫採集と植物採集がありました。母に、宿題を早くやるようにと言われづけたにもかかわらず、遊び呆けていて、お盆^{バン}すま^ハに、やっと重い

腰を上げたのでした。でも、昆虫で見つかるのは、蟬と、しじみ蝶だけ、植物はすぐに秋の草になつていました。母がうは「だから言つたでしょう」と、手厳しいお小言をもらつたことを思い出します。毎晩眠れず、隣室から洩れる豆電球のオレンジの光を見つめて後悔したものでした。きっと今年も何人かの子どもたちが私のような思いをするのだろうなあと思ひ遣そいます。

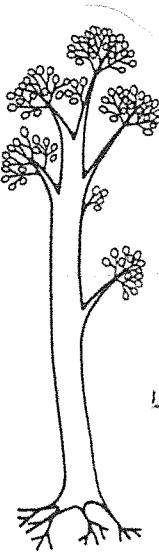
ただ、今も私は身の回りの事柄を手早く片づけられず、机上に本や書類を積み上げて、原稿の期日に追われ、気持ちばかりあせる日々を送つりますから、二三つの魂百まで「のこぼ通り、おそらく一生この様に過ごしてしまふのどう」。

最近、とみに老化が進んだわが愛犬ホホは、とぼとぼ散歩の途中でしゃらく立ち止まって、「私、たゞがれいなるの」と言わんばかりに長い休憩をとっていますが、しかしたら私も、もう少し年齢を重ねたら、たゞがれ時を楽しむ余裕もできるのでしょうか。点滴のための通院、栄養ドリンク、排泄……と老犬介護も忙しくなりつつあります。仔犬から老犬へと、人の一生を見るごとに学ばせてもらっています。物言えぬ者の声をどう聞くのか、動きや眼差しの中に、その答を探る日々であります。

S.E.N.Sの会
会員研修公開会

通常学級での

多層指導モデル MIM



すます深く、差が広がっていってしまう。そして、二次的な障害の併発、不登校、自己肯定感の低下などが起つてくる。

・MIMとは何か？

MIMは Multilayer Instruction Model の略で、通常の学級において異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援をしていくとするモデルです。

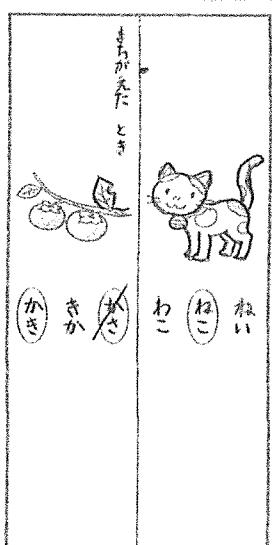
先日、特別支援教育士(S.E.N.S)の会が主催したMIMの研修会に出かけました。岐阜市・大垣市・各務原市の教育委員会が後援になっていましたので、通常学級の先生の方も多いのだろうと思いましたが、参加者は通級の先生の出席が目立ちました。

以前、「ひまわりからのメッセージ」でも一度紹介させていたいたことがありました。今回、国立特別支援教育総合研究所の海津里希子先生と、東京都の公立小学校の栗原光世教諭の公開研修会でした。

・読みのつまずきの早期把握・早期支援

研究は二〇〇六年から始まりました。「口は、学習につまずいてはじめて支援が開始されます。しかし、つまずきを示した子どもに対し、「そのうち習得できる」「もう少し様子を見まはう」等と効果的な支援がなされないと、そのつまずきは、ま

まず、アセスメントとして、通常の学級での実態把握をします。(MIM-PM) それには二つのテストがあります。
テスト① 紵に合うことばさがし



② 3つのことばさがし

いぬはないちご

みかんくつかいだん

つて習得が難しい。

△早期支援の重要性△

九歳までに適切な教育を受けられなかった子どもの場合、その内の約七十パーセントが読みのつまずきを生涯持ちつづける可能性がある。

△MIMにおける指導△

- 金子の子にMIM-PMを実施。(五月と三月)
- 国語の年間計画の中に位置づける。
- 繰り返し練習することでスキルを習得。
- 日常生活の中で使う。

従来の特殊音節の指導(音の違いを音で理解)

視覚化や動作化を通じた音節構造の理解

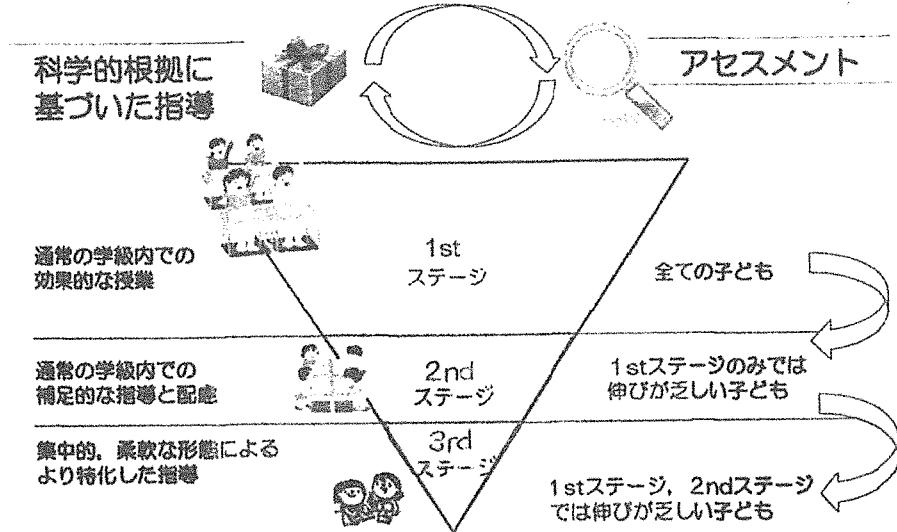
(音の違いを動作で、音の体感)

逐字ではなくかたまりとして語を捉える、読みの速度の

向上をはかる。

日常的に用いる語の拡大と使用。

- MIMで何をどう教えるか。
通常の学級内での効果的な授業
- 通常の学級内での補足的な指導と配慮
- 集中的、柔軟な形態によるより特化した指導



通常の学級における多層指導モデルMIMにおける重要な要素

(MIM研修会資料より抜粋)

※つまる音は、音が消えることを発見し、手書きの形で表現する。

・1stステージで獲得できなかった子を重点的に.

- ・ちょっとした隙間時間の利用
- ・ちょっとしたスペースの利用

2ndステージ

- ・プリントの活用

このステージでは、クラスの中に獲得できただ子と、まだできていない子が混在しているので、朝学習や給食準備、昼休み等を利用して指導する。

3rdステージ

・基本的な指導法は1stステージと同じ。

・二つのある子のみを少人数で、集中的に、指導者

のフィードバックがたくさん受けられる環境で、

・通級等とコラボレーションをして行う。

・MIMを実施した結果

読みに関する子どもたちの意識の変化（読むことが好き、得意と言つ子の増加）や、特殊音節の書き、読書力にも力がついてきている。音読につまづく児童がほとんどなくなった。ある学校では、一年生の七〇時間でMIMを取り入れた結果、子どもたちの行動調整に結びついたという報告もあった。

・研修を終えて

MIMでは、見えない音を見える形にするといつことが重要と

考えられます。それが視覚化、動作化ということです。

「ねこ」は●● 「ねっこ」は●●● (シールを使います。)

「おばさん」は●●●● 「おばあさん」は●●●●●

動作化というのは、普通の音は手を叩きますが、小さい「つ」の時はタ一の形で握ります、「おばさん」は手を四回たたきますが、「おばあさん」の時の「ば」は、のはす音などの手をそのまま下に下ろします。

拗音は、二つの音が一つになつてるので視覚化は◎。動作化は掌を合わせてねじるよう握ります。

子どもたちも、ただ音だけで学ぶよりも、音を体で確かめ、体で表現することを体でおぼえることができるでしょう。海津先生によると、全国でMIM研修をしていなかつた唯一の県が岐阜県だったそうですから、今後、通常学級の先生方がもっと関心をもつて下さって、子どもたちが楽しく学べる機会をふやしていただきたいと思います。読むことは、学習の基本ですから、子どもたちの「苦手だ」という意識を無くしていただきたいですね。

あ
知
ら
せ

八月のセンター親の会は休みです。（相談は受け付けます。）九月例会は九日。中川ふれあいセンターです。